

練馬区議会議員

かつこ
やない 克子

保健福祉委員会
医療・高齢者等特別委員会



練馬区議会議員

やまさき
山崎 まりも

文教児童青少年委員会
みどり・環境等特別委員会



生活者ネットワーク

区議会ニュース

2024年 第四回定例会(11月29日~12月13日) 報告号

区の施策計画『素案』に意見を出そう!

今回、様々な分野において計画や方針などの〈素案〉が示されました。区は区民の意見を募集し、その意見を踏まえて基本構成を策定するとしています。「こんなまちに住みたい」という想いを形にしていく当事者として、あなたの意見を送りませんか。



誰もが当事者 「健康づくりサポートプラン」

「人生100年時代」といわれますが、生き生きと暮らすためには日頃から自分のからだに関心を持つことが大事ではないでしょうか。

2025年度から3か年の「練馬区健康づくりサポートプラン(素案)」は、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた健康づくりのチェックポイントが一覧で示されるなど、現行のプラン冊子と比較して、より身近に考える工夫が施されていると感じます。

私たちは、不登校や高校を中退して学校にも職場にもつながっていない若者が、健康診断の機会を逃しがちであることを指摘し対応を求めてきました。来年度から成人歯科検診の対象年齢を20歳、25歳と拡大するとのこと。健診のきっかけになることを期待します。ぜひ、素案の段階から関心を持っていただき、ご意見をお寄せください。

他11件の素案が出ています!

詳細はこちら(区のHPへ)▶

区は区民の意見を募集しています。
皆様のご意見をお寄せください。
期間:12/11~1/15(一部1/21)



統合?再編?学校区変更? どうなる?練馬区の小・中学校

「区立学校適正配置第二次実施計画(素案)」が示されました。2023年度の出生数は75.9万人となり、区立の小・中学校の児童・生徒数は昭和50年代のピーク時の約6割まで減少しています。それに伴い、練馬区では区立学校の小規模化や学級規模の格差を解消するために「適正配置」を行ってきました。

さて、誰にとっての適正なのか、そこに子どもの権利の視点は入っているのでしょうか。不登校の子どもたちが増え続け、多様な学びが求められる今日では、人数による統廃合ありきでなく、子どもたちや保護者、地域の人ともこれからの学校の在り方をよく話し合っ決めていくべきです。

出典:計画(素案)p54学校別検討まとめ「統合・再編・学区変更を検討する学校」より

<小学校>

- 統合・再編:光が丘第八小 相手校:田柄小(田柄小の改築に合わせてR14~R18)
- 学校区変更:春日小 相手校:練馬小・高松小(一部を春日小に編入する方向で検討R9~)

<中学校>

- 統合・再編:豊溪中 相手校:光が丘第一中(敷地:光が丘第一中)

陳情「給食の牛乳を選択制にしてほしい」が不採択に



文教児童青少年委員会で「学校給食における飲用牛乳の対応に関する陳情」を審査しました。陳情者の要望は

- 牛乳を飲むことによる体調不良や特定の食物摂取制限の理由で飲めない児童生徒が、診断書なしでも牛乳停止届の提出によって停止できるように
- アレルギーが理由の場合は、診断書の提出を毎年求めず、一度でも診断されたら卒業まで継続して牛乳が停止されるように
- 上記のことを保護者に通知するように

学校給食の牛乳は成長期の子どもたちにとって、とても大切な栄養です。しかし、毎日一定数は飲

めない、飲まないのに提供され、廃棄され続けています。

SDGsの観点で資源を大切にすること、給食費が無償化され税金で負担していることから「もったいない」。

私たちは、区の牛乳の利用数が減ったとしても、1本あたりの価格が変わらないこと、供給できなくなることはないことを確認しました。そして、牛乳の栄養価をしっかりと伝えた上で「子どもたちが納得して飲む、飲まないを選べること」が良いのではないかと考え「採択」としました。しかし、反対多数で「不採択」となりました。

給食の目的は栄養摂取だけではないはずです。子どもたちにとって給食が楽しい時間であってほしいと思います。

どうなる!?大泉二中と道路問題

12月5日の都市整備委員会と文教児童青少年委員会に「大泉第二中学校の教育環境保全と大泉学園駅南側地区まちづくりの取組方針(素案)」が示されました。中学校を4分割する都市計画道路補助135号線と補助232号線について、私たちは、教育環境の保全を最優先にすべきと計画の見直しを求めてきました。



出典:大泉第二中学校の教育環境保全と大泉学園駅南側地区まちづくりの取組方針(素案)

区は、2016年に中学校の教育環境保全と道路整備のあり方を検討する有識者委員会を設置し、これまでに23回開催。2019年5月に提言が示され、区は、この提言を受けて「『取組方針』を作成する」としていました。しかし、この5年間表立った動きが見られず、議会でも度々進捗について質疑されてきました。

取組方針(素案)では計画線上にある大泉南小学校の校地の整形化についても言及しています。説明のためのオープンハウスが開催されるので、ぜひ参加・ご意見をお願いします。

オープンハウス

日時：2025年1月17日(金) 17:00~20:00
1月18日(土) 10:00~16:00
場所：勤労福祉会館2階会議室

議員の報酬を引き上げ議案に反対しかし、賛成多数で可決されました

議員報酬の決め方は?

東京23区の自治体職員の採用や報酬など、専門的・中立的な立場から人事行政に関する事務を扱う特別区人事委員会の勧告に基づき、練馬区特別職報酬等および議会政務活動費審議会(以下、審議会)の答申を受けて検討し決定します。その結果、①現行月額616,800円を622,300円に(+5,500円)②期末手当を3.5月から3.7月に(+0.2月)引き上げ、年間報酬額は約1,000万円です。

	議長	副議長	委員長	副委員長	議員
現行額	912,700	787,300	678,000	646,900	616,800
改定額	920,900	794,300	684,100	652,700	622,300
差額	+8,200	+7,000	+6,100	+5,800	+5,500

区民理解は得られるか?

審議会の答申では「区の財政状況、他の特別区における特別職の報酬等の額の動向、現在の社会経済情勢等を参考にし、さらに区民感情等に配慮するなど、総合的に勘案して、慎重に審議を重ねた」と示されています。しかし約1,000万円の議員報酬は、国民生活基礎調査の平均所得金額を大きく上回ります。こうした実情を鑑み、議員報酬を引き上げることに反対しました。

●information●

2025年第一回定例区議会2月6日(木)~3月14日(金)一般質問 やない克子(予定) また、来年度の予算について質疑します。

区議会ニュース第四回定例会報告号 2024年12月16日 発行 やない克子 山崎まりも
〒176-0001練馬区練馬1-15-1-302 練馬・生活者ネットワーク
TEL:03-3993-4899 FAX:03-5999-4632
webページ <https://nerima-seikatsusya.net/>
メール net-gikai@jcom.home.ne.jp ご意見・ご質問をお寄せください。



▲HPはこちら

生活者ネットワークは、地域の課題や生活者の声を集めて、区政につなげています。